

工事店様用

全量買取向け

ZMPMCF エコめがね

モバイルバックマルチコネクト

<パワコン接続タイプ>

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナー-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル

パナソニック製

産業用パワーコンディショナ用 A Ver2.0

SV センサ設定ツール 設定内容 <PCS メーカー> パナソニック三相(RS-485) <PCS 型式> 「VBPCT□□A2、VBPCT□□A3」	
対象型式： VBPCT99A2 VBPCTA0A2	VBPCT99A3※ VBPCTA0A3※

《注意》

本マニュアルは、パワーコンディショナの **RS-485 通信**を使用する対象となっています。
※の型式にて Modbus 通信を使用する場合は、『パワーコンディショナー-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル パナソニック製 産業用パワーコンディショナ用 B』をご参照ください。

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

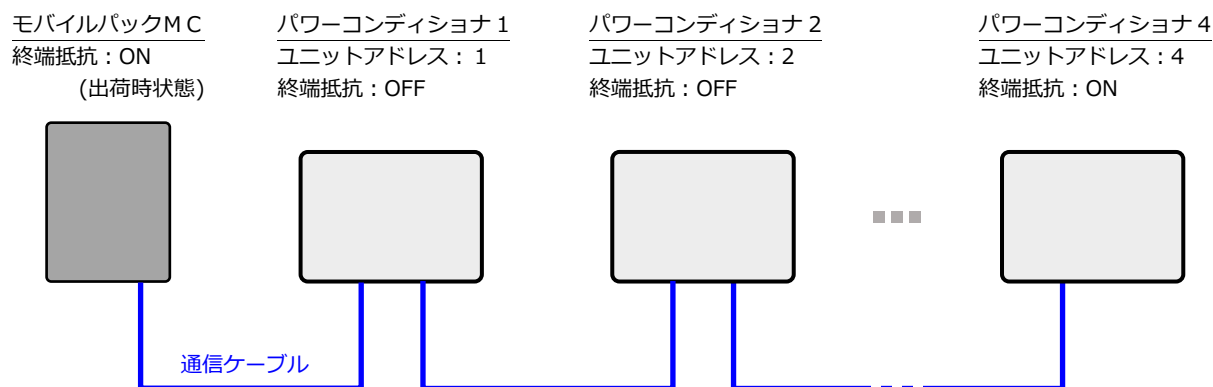
エコめがねモバイルパックマルチコネクタ（以下 モバイルパックMC）をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

2. システム構成

以下に、パワーコンディショナ 4 台接続のシステム構成例を記載します。

※型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは当社 HP をご確認ください。

https://partner.eco-megane.jp/mc_pcs.html



3. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの作成

3-1. 準備部材・工具

パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材、工具を以下に記載します。

●部材 (パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	穴径 M3	3 個
	穴径 M4	1 個
シールド付きツイストペアケーブル	最大電線径 2.0 mm ² 選択例： KPEV-S 1.25 mm ² - 1P	1 本
絶縁テープ	-	任意の長さ

<参考> パワーコンディショナ間 通信ケーブルの部材について

複数のパワーコンディショナ間を接続する通信ケーブルについて、必要な部材を以下に記載します。パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを確認の上、市販品を入手・加工してください。

用途	部材名	サイズ・規格	数量
通信 ケーブル	シールド付きツイストペア ケーブル	最大電線径 2.0 mm ² 選択例： KPEV-S 1.25 mm ² - 2P	(PCS 台数 - 1) 本
	丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	穴径 M3	ケーブル 1 本あたり 6 個

●工具

工具名	サイズ・規格
ニッパー	-
ペンチ	-
プラスドライバー	-
マイナスドライバー	-
トルクドライバー	-
圧着工具	圧着端子サイズに適合するもの

3-2. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの加工

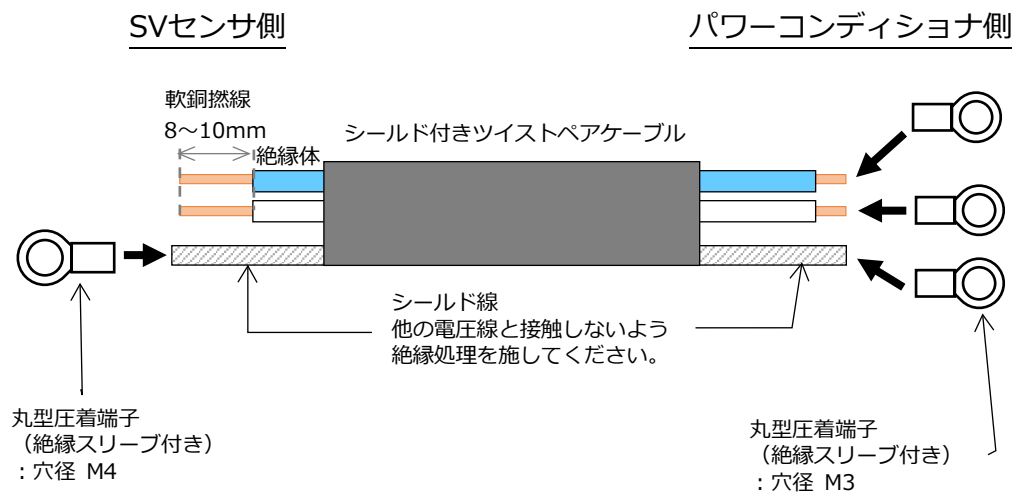
●ケーブル加工方法

パワーコンディショナ - SVセンサ間の距離に応じた長さのシールド付きツイストペアケーブルを用意してください。

SVセンサ側（信号線）：絶縁体を8～10mm剥ぎとってください

SVセンサ側（シールド線）：丸端子を圧着してください

パワーコンディショナ側：信号線およびシールド線の端に丸端子を圧着してください



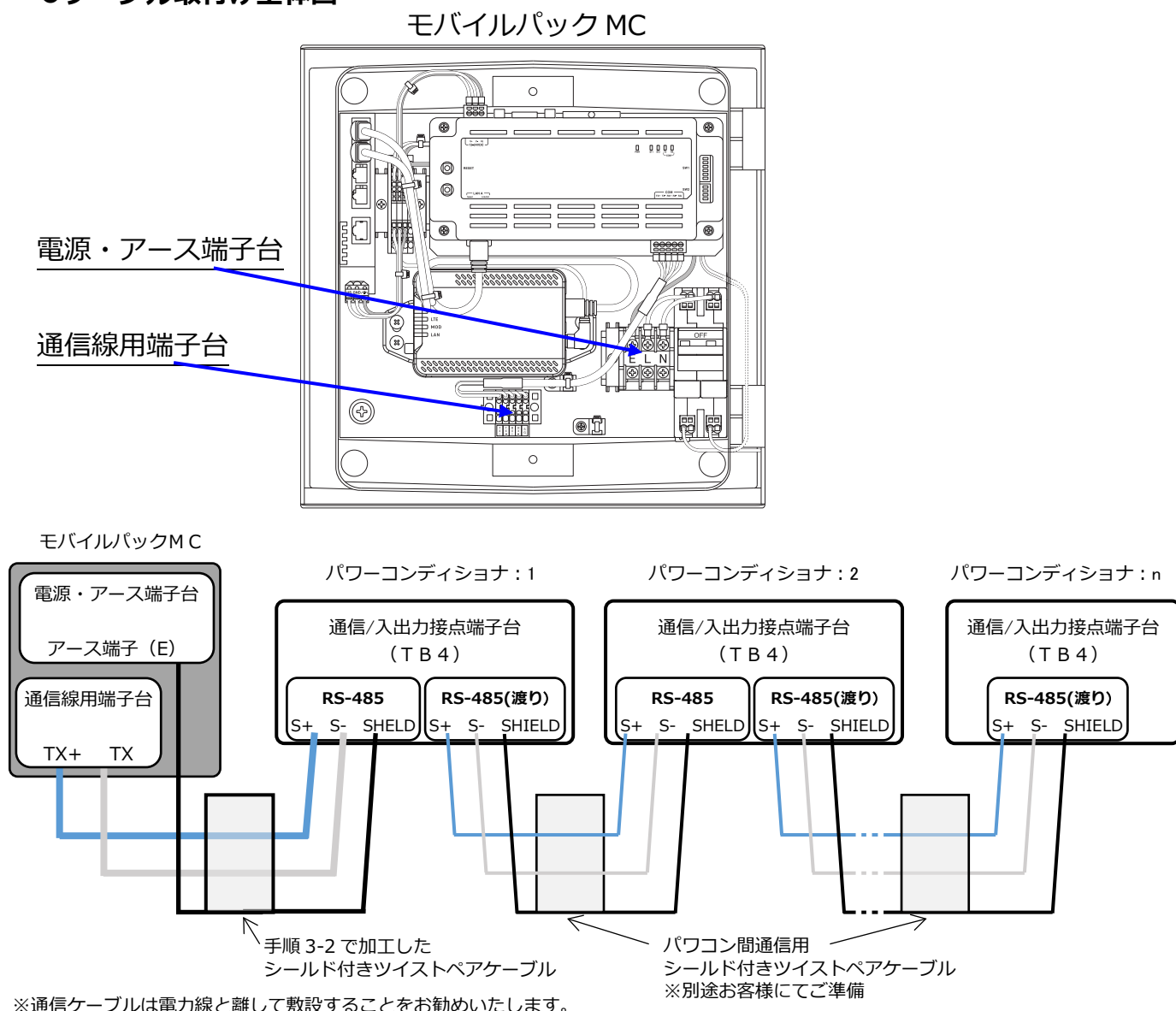
4. 通信ケーブルの取付け方法

<注意>機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

手順 3-2 で加工したケーブルで、モバイルパックMCのアース端子・通信線用端子台と、パワーコンディショナの通信/入出力接点端子台（T B 4）の「RS-485」間を接続してください。また、パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、別途パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアル等をご確認の上、接続してください。

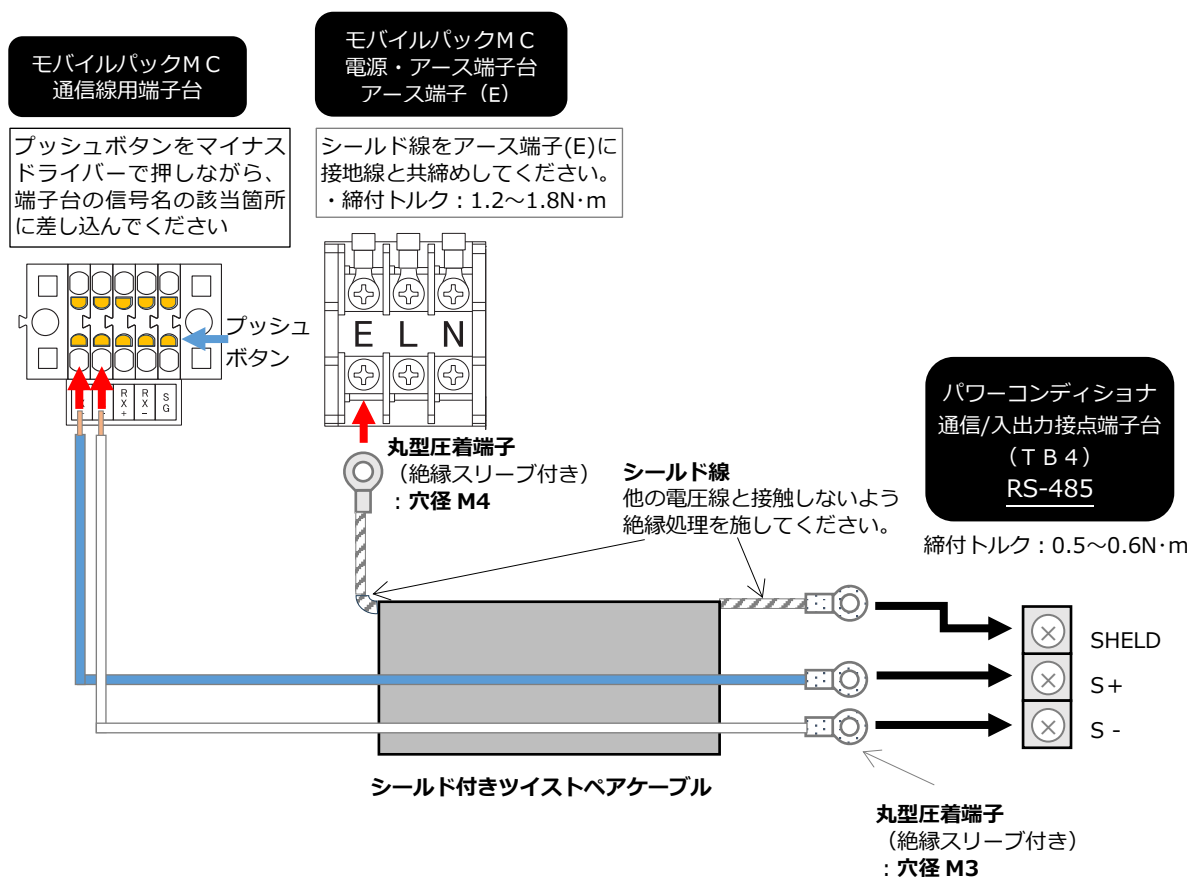
※パワーコンディショナの通信/入出力接点端子台（T B 4）には RS-485 と Modbus の 2 種類があります。RS-485 の端子に接続してください。

●ケーブル取付け全体図



4. 通信ケーブルの取付け方法（つづき）

● パワーコンディショナ - SVセンサ間通信ケーブル取付け部分図



● 結線対応表

モバイルバックMC 通信線用端子台	パワーコンディショナ 通信/入出力接点端子台	
信号名	端子名称	信号名
TX+	RS-485	S +
TX-	RS-485	S -

モバイルバックMC 電源・アース端子台	パワーコンディショナ通信/入出力接点端子台	
接続場所	端子名称	信号名
アース端子 (E)	RS-485	SHIELD

5. その他

5-1. パワーコンディショナ間の同期ケーブル接続

複数のパワーコンディショナを設置する場合は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従い、パワーコンディショナ間を同期ケーブルで接続してください。

5-2. 終端抵抗の設定

接続パターンにより、SVセンサおよびパワーコンディショナの終端抵抗を設定してください。

＜注意＞ 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。

パターンAでご使用される場合は、SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。

【パターン A（推奨）】モバイルパック MC が通信経路上の終端に設置されている場合

・モバイルパック MC：

SV センサの終端抵抗設定を有効（DIP-SW2 No.1 を ON）に設定してください。

・パワーコンディショナ：

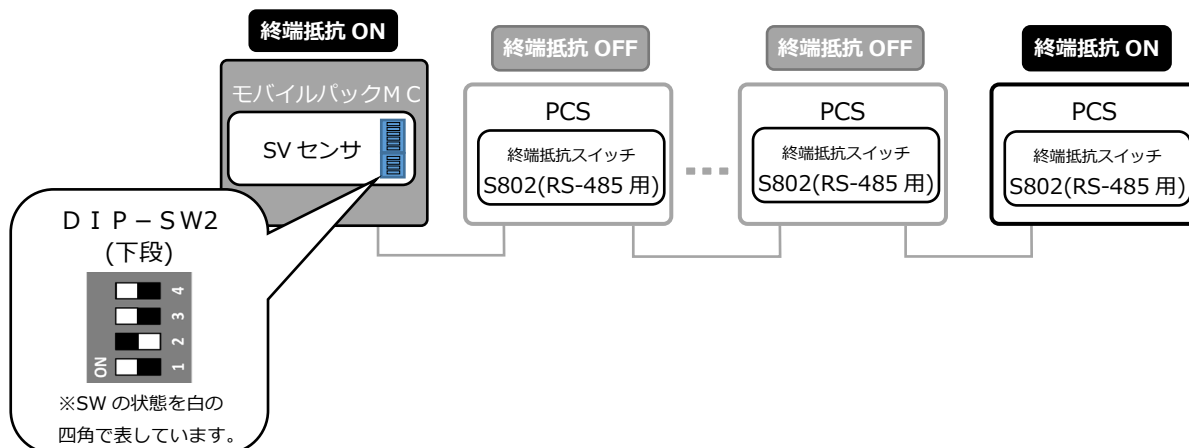
終端にある 1 つのパワーコンディショナの終端抵抗スイッチ S802(RS-485 用)を「ON」にしてください。

それ以外のパワーコンディショナは、終端抵抗スイッチ S802(RS-485 用)を「OFF」にしてください。

※パワーコンディショナの終端抵抗スイッチには S801(Modbus 用)と S802(RS-485 用)の 2 種類があります。S802(RS-485 用)のスイッチを操作してください

※具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアルを参照してください。

終端抵抗の設定（パターン A の場合）



【パターン B】モバイルバック MC が通信経路上の終端に設置されていない場合

・モバイルバック MC :

SV センサの終端抵抗設定を無効 (DIP-SW2 No.1 を OFF) に設定してください。

・パワーコンディショナ :

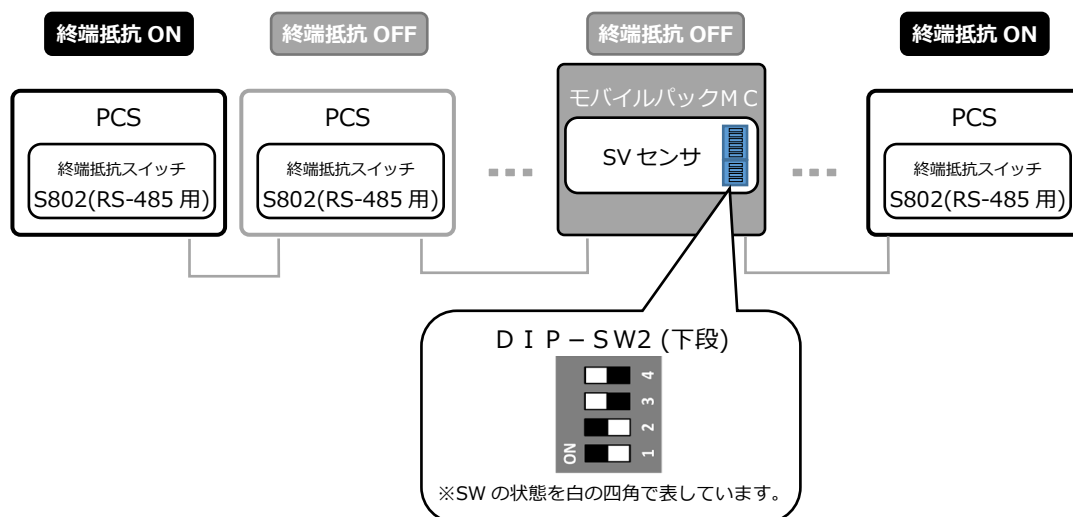
通信線上の終端にある 2 台のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチ S802(RS-485 用)を「ON」に設定してください。

それ以外のパワーコンディショナについては、終端抵抗スイッチ S802(RS-485 用)を「OFF」に設定してください。

※パワーコンディショナの終端抵抗スイッチには S801(Modbus 用)と S802(RS-485 用)の 2 種類があります。S802(RS-485 用)のスイッチを操作してください。

※具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等を参照してください。

終端抵抗の設定 (パターン B の場合)



5-3.アドレス(局番)の設定

複数台同時使用する場合は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従い、パワーコンディショナのアドレス(局番)を設定してください。

<注意> アドレス(局番)は1～9の範囲で重複しないよう設定してください。

MEMO

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。